



みんな読んでね！

みたか環境ひろば

令和6年7月号 vol.88



1

環境講座「なぜ？ 三鷹産野菜のおいしさの謎 ～キーワードは“緑のカーテン”と“地産地消”～」を開催しました

三鷹の魅力の一つに緑の豊かさを挙げる人が多い。さすがに昔と比べると農家や耕作地は減っているが、地域に根ざした野菜、果物、花の直売所がたくさんある。今回の講演会では若手農業従事者の森屋賢さんとJAの井上昇太さんをお迎えして三鷹産の野菜のおいしさの秘密や農地の役割、近年増えている異常気象による農業への影響などのお話を伺った。三鷹産野菜のおいしさのなぞは？実は「顔の見える野菜作り」にある。直売所やふれあい農園での農家さんとの交流で市民は地産野菜を身近に感じ、野菜のおいしさも増す！地元野菜は学校給食にも使われ、子ども達の食育教育にも活用されている。

都市農業は環境面でもメリットが大きい。真夏、農地の近くを通ると不意にひんやりとした気持ちのよい風が吹いてくる。コンクリートの表面温度はとても高いが生産緑地や農地はヒートアイランド現象を和らげてくれる。また地産野菜は輸送距離も時間も短いので大幅に二酸化炭素排出量を減らすことができる。そのほか生物多様性や防災面でも農地は重要な役割をしている。近年地球温暖化による異常気象で高温や大雨による被害がいたるところで起きている。地球温暖化対策としても農地はとても重要。三鷹の農地を守っていききたいと強く思う講演だった。最後に配られたヘチマの苗、“緑のカーテン”でこの夏の暑さを乗り切りましょう！（大谷内）

クイズ1 三鷹の果樹収穫高1位はどれでしょうか？

- ① 柿 ② キウイフルーツ ③ ブルーベリー



クイズ2 三鷹の野菜収穫高第1位はどれでしょうか？

- ① キャベツ ② ブロッコリー ③ ダイコン



正解はこのページ下

2

楽しみがたくさん、私の循環

1 ヘチマを植え、緑のカーテンにして、ヘチマを食べ、化粧水を作り、ヘチマたわしを作り、種を取って来年また植え、最後に蔓でリースを作ります。上手くいくかわかりませんが、考えただけでワクワク。
2 段ボールコンポスト。毎日（時々お休みするときもあります）コンポストの温度を測り、生ごみの重さを量って記録します。さて、何キロのごみを削減できたかしら？出来た堆肥はベランダで栽培している野菜に使います。栽培した野菜を料理したときに出る野菜くずはまたコンポストへ。

この循環を一人でこっそり行うのはもったいないので、お友達にシェアして仲間を広げていきます。情報交換したり、時には出来た野菜やお花のおすそ分け。
循環を考えるのは、環境にやさしく私も気持ちが良いし、おすそ分けも楽しそう。
自分の循環を考えて楽しみながら取り組んでみてはいかがでしょうか。（藤田）

裏面も読んでくださいね！

正解 クイズ1 ②キウイ クイズ2 ①キャベツ（いずれも令和4年度）

グリーンカーテンの効果や、自分でできる夏を涼しく過ごす工夫をご紹介します。

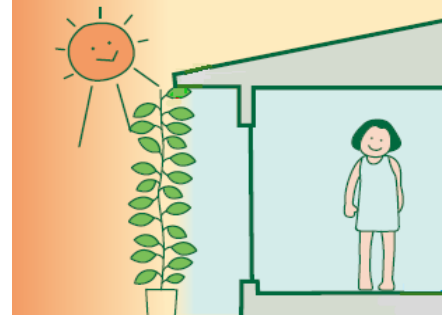
（出典：環境省ホームページ「始めよう！グリーンカーテン」）

1. 窓からの日射を遮る

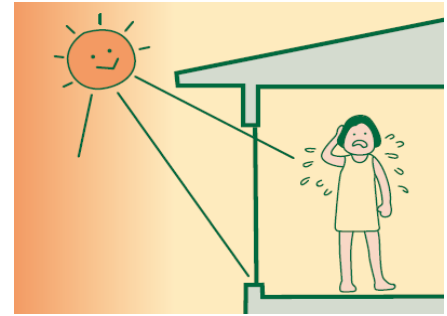
夏の直射日光による室内温度の上昇を防ぐには、葉の十分に茂ったグリーンカーテンが効果的です。日射の熱エネルギーの80%をカットする遮蔽効果があります。すだれの遮蔽率が50～60%、高性能の遮蔽ガラスでも55%程度。いかにグリーンカーテンが優れているか分かります。

2. 家の周りの表面温度を抑える

暑さ対策は直射日光だけではありません。強い日射を受けて表面温度が高くなった窓付近の地面や壁などから熱が放出されるのも暑さの原因です。この放射熱により、室温以上に体感温度が上昇し、さらに暑さを感じるようになります。そのためグリーンカーテンの張り方を工夫して地面や壁も日差しから遮ることで、放射熱の発生と侵入を効果的に抑えることが出来ます。（並河）



グリーンカーテンあり



グリーンカーテンなし

自分でできる、夏を涼しく過ごす工夫

1. 家の外の工夫

- ・グリーンカーテン、よしず、すだれ
- ・室外機周辺への直射日光を避ける

2. 家の中の工夫

- ・エアコンフィルターの掃除
- ・風通しを良くする
- ・断熱フィルムを窓に貼る
- ・夏用に涼しげな色や素材に衣替え

排気ガスを出さず、化石燃料も使用しない自転車は、環境に優しい移動手段です。ただ、安全上のリスクもあります。ヘルメット着用が努力義務化され、スマホを見ながらの運転の罰則化が話題になっていますが、まだ十分守られていません。自転車は一度停止すると走り出すときに力があるので、前方に歩行者がいたり、信号が黄色になっても停止しない人もよく見かけます。道路交通法で、自転車通行可の歩道を除き自転車は原則として車道を通行することになっていても、車道を通行中に脇を大型車が走行するとヒヤッとします。また、夜間、黒っぽい服装で通行している自転車は、車の運転者からは非常に認識しづらいため危険なこともあります。

自転車事故を減らす対策としては、交通量の多い道路の拡幅が挙げられます。道路幅が比較的広く、自転車道や自転車ナビマークのある東八道路やかえて通りは、自転車で快適に走行できます。また、連雀通りでは現在拡幅工事が進められています。（岡村）

次回の発行は令和6年10月の予定です

発行：みたか環境活動推進会議
（愛称 みんなの環境）

連絡先：三鷹市生活環境部環境政策課

電話：0422-29-9612(直)

E-mail：kankyo@city.mitaka.lg.jp

